

12日(木)、本年度最初の歴史講座「奈良時代パート1」が開催されました。

講師の高見省三さんから、元明天皇による平城京への遷都で始まった奈良時代に「大宝律令・養老律令」により律令政治が完成し、聖武天皇即位後の墾田永年私財法により自分で開墾した田地の耕作権が永年に認められ、そして、国分寺・国分尼寺の建立が推し進められて仏教中心の国家が形作られていったと、その政策について詳しく教えていただきました。

また、時代の中心人物であった藤原不比等、聖武天皇、行基、藤原四兄弟、そして、畿内に発生した大地震や天然痘の流行など、奈良時代に大きな影響を与えた人物や出来事についても教えていただきました。

参加された19名の受講者の皆さんは高見先生の話に熱心に耳を傾けていました。



今年度第一回目となる出前講座が19日(木)、学習室で行われました。

当日は定員30名のところ45名もの参加者があり、学習室は熱気に包まれ講座が始まりました。

岩木寛人さんの母・あさ子さんは54歳でアルツハイマー認知症の診断を受け、岩木さんは26歳で介護を担う人生になりました。

その介護を通じて母が教えてくれた“自分らしく生きる”ことの実体験や、友人、知人、行政の理解を支えに訪問美容、介護の日々の中でポジティブに自分自身が生きることの大切さが母への愛情の発露になっていると、岩木さんは語ってくれました。

岩木さんの講演を聞いて自分の家族への想いや介護と合わせて涙する方もいらっしゃいました。

“町じゅう、つながる、支え合う”名張市でありたいと思う心に沁みる出前講座でした。



◎8月21日(木)に、福祉部主催「出前講座 人生いろいろ思い出回想法による楽しい語らい」の開催を予定しております。皆さまのご参加をお待ちしております。